茨城工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	日本語Ⅲ

科目基礎情報

科目番号	0038	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	国際創造工学科　機械・制御系(制御コース)	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	改訂版 大学・大学院留学生の日本語④論文作成編（アルク）　日本語総まとめN1文法（ask）アカデミック・スキルを身につける聴解・発表ワークブック（スリーエーネットワーク）		
担当教員	増谷 祐美		

到達目標

・報告文、論説文、学術論文など、論理的文章を読むための読解力をつける。
・上記に必要な文字、語彙、文法を習得する。
・簡単なプレゼンテーションができるようになる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
内容理解	論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで内容を理解することができる	論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで内容を理解することが概ねできる	論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで内容を理解することができない
構造読み	論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで構造を理解することができる	論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで構造を理解することが概ねできる	論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで構造を理解することができない
批判的読み	文章を批判的に読んで、問題点に気づくことができる	文章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる	文章を批判的に読んで、問題点に気づくことができない
論文作成	基本的な構成にのっとって、レポートや簡単な論文を書くことができる。	基本的な構成にのっとって、レポートや簡単な論文を書くことが概ねできる。	基本的な構成にのっとって、レポートや簡単な論文を書くことができない。
プレゼンテーション	レジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることができる	レジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることが概ねできる	レジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることができない

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (C)

教育方法等

概要	・1600字程度の漢字の習得 ・論理的文章を読むのに必要な語彙・文法 ・論理的文章の内容理解 ・論理的文章の構造・論理の理解 ・論理的文章の批判的読み ・基本的な論文作成の方法 ・基本的なプレゼンテーションの方法
授業の進め方・方法	講義、演習
注意点	外国人留学生に対して開講する科目です。 入国の遅れなどが理由で留学生が授業を受けられない場合は、Google　Classroomを用いてオンライン授業を行う。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	・文章の構成・構造を読む①（第１回）・N1文法	・説明的文章の典型構成を知る。・第１回目の文法を習得する。。
		2週	・文章の構成・構造を読む②・N1文法（第２回）	・説明的文章を段落に分ける。・第２回目の文法を習得する。
		3週	・文章の構成・構造を読む③・N1文法（第３回）	・小見出しをつける。・第３回目の文法を習得する。
		4週	・論理関係をとらえる①（第４回）・N1文法	・柱の段落、文章を見つける・第４回目の文法を習得する。
		5週	・論理関係をとらえる②（第５回）・N1文法	・接続詞に注目して論理関係を考える①・第５回目の文法を習得する。
		6週	・論理関係をとらえる③・N1文法（第６回）	・接続詞に注目して論理関係を考える②・第６回目の文法を習得する。
		7週	・論理関係をとらえる④・N1文法（第７回）	・要約、要旨をまとめる。・第７回目の文法を習得する。
		8週	・論理関係をとらえる④・N1文法（第８回）	・グラフの見方や使い分けを学ぶ。・第８回目の文法を習得する。
	2ndQ	9週	・批判的読み①（第９回）・N1文法	・文字や表現の間違いを推敲する。・第９回目の文法を習得する。
		10週	・批判的読み②（第１０回）・N1文法	・語順や文の長さ、接続関係、表現のわかりやすさを推敲する。・第１０回目の文法を習得する。

		11週	・批判的読み③ ・N1文法（第１１回）	・矛盾する点がないかどうか推敲する。 ・第１１回目の文法を習得する。
		12週	・批判的読み④ （第１２回） ・N1文法	・結論が妥当であるかどうか、飛躍がないかどうか等の観点から推敲する。 ・第１２回目の文法を習得する。
		13週	・批判的読み⑤ ・N1文法（第１３回）	・事実と意見の区別ができているかどうか推敲する。 ・第１３回目の文法を習得する。
		14週	・実践練習 （第１４回） ・N1文法	・これまでに学習した内容を踏まえて論理的文章を読む。 ・第１４回目の文法を習得する。
		15週	・実践練習 （第１５回） ・N1文法	・これまでに学習した内容を踏まえて論理的文章を読む。 ・第１５回目の文法を習得する。
		16週	(期末試験)	
後期	3rdQ	1週	・第1課「食中毒」の音声を聞いて、レジュメを作成してみる。 ・漢字（第１回） ・作文の基本（１）	・第1課「食中毒」を用い、適切なレジュメの書き方を学ぶ。 ・第１回目の漢字を習得する。 ・文字や記号の書き方を学ぶ
		2週	第1課「食中毒」のレジュメを見ながら、聞いた音声と同様に発表してみる。 ・漢字（第２回） ・作文の基本（２）	・第1課「食中毒」を用い、適切な発表の仕方を学ぶ。 ・第２回目の漢字を習得する。 ・文体や表現を学ぶ
		3週	・第２課「言葉と文化」の音声を聞いて、レジュメを作成してみる。 ・漢字（第３回） ・課題の提示	・第２課「言葉と文化」を用い、適切なレジュメの書き方を学ぶ。 ・第３回目の漢字を習得する。 ・論文の構成要素と序論の構成要素を学ぶ
		4週	・第２課「言葉と文化」のレジュメを見ながら、聞いた音声と同様に発表してみる。 ・漢字（第４回） ・目的の提示	・第２課「言葉と文化」を用い、適切な発表の仕方を学ぶ。 ・第４回目の漢字を習得する。 ・序論の構成要素をさらにを学ぶ
		5週	・第３課「不登校」の音声を聞いて、レジュメを作成してみる。 ・漢字（第５回） ・定義と分類	・第３課「不登校」を用い、適切なレジュメの書き方を学ぶ。 ・第５回目の漢字を習得する。 ・本論の構成要素を学ぶ
		6週	・１～５週の復習	・１～５週に学んだ内容について不十分な点を確認し、確実に理解する。
		7週	(中間試験)	
		8週	・第３課「不登校」のレジュメを見ながら、聞いた音声と同様に発表してみる。 ・漢字（第６回） ・図表の提示	・第３課「不登校」を用い、適切な発表の仕方を学ぶ。 ・第６回目の漢字を習得する。 ・図表の提示の仕方、数値の大きさの表示の仕方、数値の大きさの評価について学ぶ
	4thQ	9週	・第５課「食料自給率」の音声を聞いて、レジュメを作成してみる。 ・漢字（第７回） ・原因の考察	・第５課「食料自給率」を用い、適切なレジュメの書き方を学ぶ。 ・第７回目の漢字を習得する。 ・原因の考察と予測について学ぶ
		10週	・第５課「食料自給率」のレジュメを見ながら、聞いた音声と同様に発表してみる。 ・漢字（第８回） ・引用	・第５課「食料自給率」を用い、適切な発表の仕方を学ぶ。 ・第８回目の漢字を習得する。 ・論文の提示の仕方、引用の仕方を学ぶ
		11週	・第６課「子供の生活習慣病」の音声を聞いて、レジュメを作成してみる。 ・漢字（第9回） ・同意と反論	・第６課「子供の生活習慣病」を用い、適切なレジュメの書き方を学ぶ。 ・第９回目の漢字を習得する。 ・同意、反論の仕方と注や文献の記述の仕方を学ぶ
		12週	・第６課「子供の生活習慣病」のレジュメを見ながら、聞いた音声と同様に発表してみる。 ・漢字（第１０回） ・帰結	・第６課「子供の生活習慣病」を用い、適切な発表の仕方を学ぶ。 ・第１０回目の漢字を習得する。 ・帰結、換言、補足の書き方を学ぶ
		13週	・発表準備 （第１１回） ・漢字 ・結論の提示	・自分で選んだテーマについて適切にレジュメを書く。 ・第１１回目の漢字を習得する。 ・結論の構成要素を学ぶ
		14週	・８～１３週の復習	・８～１３週に学んだ内容について不十分な点を確認し、確実に理解する。
		15週	(期末試験)	
		16週	・発表	・自分で選んだテーマについてレジュメを見ながら発表できる。

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0